

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人科学技術振興機構施設整備に必要な経費		担当部局	文部科学省科学技術・学術政策局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	基盤政策課			基盤政策課長 板倉周一郎		
会計区分	一般会計		施策名	-					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人科学技術振興機構法		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術振興機構(JST)の設置する施設・設備の整備充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、もって科学技術の振興を図ることを目的とする。 ・地域産学官共同研究拠点整備の推進 ・JST本部等の改修等								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	JSTに対して、以下の取組を実施するための施設・設備の整備充実に係る経費を補助する。 ・自治体・大学・産業界からの提案を踏まえ、地域の強みを活かした産学官共同研究の実施や地域企業への成果の普及、中堅・中小企業の技術高度化の支援、高度技術者の養成等に取り組むための研究設備・装置を整備する。 ・JST本部、外国人研究者宿舎・日本科学未来館の施設・設備について老朽化等により性能を維持できなくなったものの改修等を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	0	98	142	112	98		
		補正予算	27,650	-	-	-	-		
		繰越し等	▲ 27,571	27,327	244	-	-		
	計	79	27,426	386	112	98			
	執行額	0	25,269	347					
執行率(%)	0%	92%	90%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (毎年度)	
	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備できたか		成果実績	-	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。平成22年度においては、JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす		
			達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	施設及び設備の整備数		活動実績 (当初見込み)		0	43	6	3	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	※(独)科学技術振興機構の事業を実施するうえで必要な施設整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	独立行政法人科学技術振興機構(施設整備に必要な経費)	112百万円	98百万円	修繕等に必要額について、平成23年度実績及び平成24年度計画に基づき精査したことによる減。					
	計	112百万円	98百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)の実施において中核的な役割を担う機関として、イノベーション創出を指向した研究開発の推進及びイノベーション創出を促進する基盤整備に重点化し、効率的に科学技術振興施策を推進している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については、契約の性質又は目的が競争を許さない契約(建物所有者指定による修繕工事)および少額随意契約のみとなっている(国と同等の基準)。国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争により実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	中期目標を達成するための中期計画を定め、中期計画通りに業務を実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度行政事業レビューの指摘を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き競争性のない随意契約の見直しを徹底して行った。また、一者応礼応募対策として①仕様書チェックリストによる点検②競争参加要件の緩和徹底③公告期間確保の周知徹底等を実施し、契約の競争性、公平性、透明性を確保した。 ○事業の整備内容を精査し効率化を一層進めた。 ○平成21年度予算の繰り越し分を事業目的に沿って適切に執行した。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点:この事業は、イノベーション創出の源泉となる知識の創出から研究成果の社会・国民への還元への推進等に取り組む科学技術振興機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。 2. 所見:平成22年度行政事業レビューを踏まえ随意契約の見直しなどについても経営改善の取組として評価できる。引き続き競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するよう努めること。 		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>経年劣化に対応した修繕等を行うため、計画に従って着実に措置する。</p> <p>また、契約の競争性・公平性・透明性を確保するため、引き続き、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①契約監視委員会の点検結果を踏まえ、仕様内容の見直しを行う。 ②仕様内容の確認を仕様書チェックリストにより行う。 ③国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争により実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行う。 <p>等の取組を行うとともに、他の研究機関と協力してベストプラクティスを抽出し、実行に移す。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○平成21年度予算は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端の環境科学技術に関する情報発信機能の強化において、新技術の導入による設計変更、契約変更等の手続きに不測の日数を要したため、予算額1,350百万円のうち、契約差額を除く1,271百万円を平成22年度に繰越し。 ・地域産学官共同研究拠点の整備において、地域の特色を活かす事業とするため、公募に係る基本方針の策定に時間を要すると共に、地域に対する提案の修正依頼及び修正後の提案の審査を行うことにより、不測の日数を要したため、予算額26,300百万円全額を平成22年度に繰越し。 <p>○平成22年度予算は、平成21年度の変更承認計画に基づき事業を実施していたが、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の影響により、工事箇所及び調達設備に損傷が生じたこと等により、地域産学官共同研究拠点整備に予定以上の期間を要することが見込まれたため、244百万円を平成23年度に繰越し。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0318	平成23年行政事業レビュー	0214

※平成23年度実績を記入

文部科学省
347百万円

事業概要
科学技術振興機構(JST)の設置する施設・設備の整備充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、科学技術の振興を図ることを目的とする。

※文部科学省の支出額とAの差額は、不用等によるものであり、不用分については国庫に返納する。

[交付]

【A】(独)科学技術振興機構
335百万円
(施設整備費)

〔一般競争入札・請負〕	〔随意契約・請負〕	〔一般競争入札・請負〕	〔随意契約・請負〕	〔一般競争入札・請負〕	〔一般競争入札・請負〕	〔一般競争入札・請負〕	〔企画競争等・請負〕	〔一般競争入札・請負〕	〔一般競争入札・請負〕
【A-1】 共立管財(株) 19百万円	【A-2】 三井住友建設(株) 14百万円	【A-3】 筑波学園ガス(株) 13百万円	【A-4】 野村ビルマネジメント(株) 11百万円	【A-5】 (株)日本エスコ 8百万円	【A-6】 (株)コバヤシ 5百万円	【A-7】 (株)矢口建設 4百万円	【A-8】 コトブキシーティング(株) 4百万円	【A-9】 (株)富士ダイナミクス 3百万円	【A-10】 新日本美風(株) 3百万円
事業概要 日本科学未来館NH3ラインクーラ圧縮機点検整備業務 他	事業概要 (仮称)ふくしま医療・産業)エンジン支援拠点施設増築その他改修工事	事業概要 外国人研究者用宿舎TES設備更新 他	事業概要 川口センタービル計画修繕作業総合操作盤更新工事 他	事業概要 外国人研究者用宿舎ディスプレイ更新	事業概要 日本科学未来館館内床改修	事業概要 日本科学未来館館内壁改修 他	事業概要 日本科学未来館ドーム産席の改修	事業概要 日本科学未来館地下駐車場管制設備の改修	事業概要 日本科学未来館空調用加湿器の濾過材交換

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)科学技術振興機構					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	施設改修工事、研究機器等設備・備品費等	335			
計		335	計		0
A-1.共立管財(株)			A-6.(株)コバヤシ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	日本科学未来館NH3ブラインクーラ圧縮機点検整備業務 他	19	事業費	日本科学未来館館内床改修	5
計		19	計		5
A-2.三井住友建設(株)			A-7.(株)矢口建設		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	(仮称)ふくしま医療-産業リエゾン支援拠点施設増築その他改修工事	14	事業費	日本科学未来館館内壁改修 他	4
計		14	計		4
A-3.筑波学園ガス(株)			A-8.コトブキシーティング(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	外国人研究者用宿舎TES設備更新 他	13	事業費	日本科学未来館ドーム座席の改修	4
計		13	計		4
A-4.野村ビルマネジメント(株)			A-9.(株)富士ダイナミクス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	川口センタービル計画修繕作業総合操作盤更新工事 他	11	事業費	日本科学未来館地下駐車場管制設備の改修	3
計		11	計		3
A-5.(株)日本エスコ			A-10.新日本美風(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	外国人研究者用宿舎ディスプレイ更新	8	事業費	日本科学未来館空調用加湿器の濾過材交換	3
計		8	計		3

支出先上位10者リスト

A. (独)科学技術振興機構(施設整備費)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	共立管財(株)	「日本科学未来館NH3ブラインクラ圧縮機点検整備業務」他	19	複数案件	—
2	三井住友建設(株)	(仮称)ふくしま医療-産業リエゾン支援拠点施設増築その他改修工事	14	複数案件	—
3	筑波学園ガス(株)	「外国人研究者用宿舎TES設備更新」他	13	随意契約	—
4	野村ビルマネジメント(株)	「川口センタービル計画修繕作業総合操作盤更新工事」他	11	複数案件	—
5	(株)日本エスコ	外国人研究者用宿舎ディスプレイ更新	8	2	—(※)
6	(株)コバヤシ	日本科学未来館館内床改修	5	9	—(※)
7	(株)矢口建設	「日本科学未来館館内壁改修」他	4	複数案件	—
8	コトブキシーティング(株)	日本科学未来館ドーム座席の改修	4	随意契約事前 確認公募	—
9	(株)富士ダイナミクス	日本科学未来館地下駐車場管制設備の改修	3	2	—(※)
10	新日本美風(株)	日本科学未来館空調用加湿器の濾過材交換	3	3	—(※)

※落札率は、予定価格を類推させるおそれがあるため非公表